ありがとう赤松良子さん

びわ湖ホール第二代館長 上原 恵美（うえはら えみ）

【プロフィール】1968年労働省入省。1978年滋賀県庁に入庁し、主に文化行政を担当。1994年びわ湖ホール開設準備局長に就任。びわ湖ホール開館の1998年に赤松館長のもとで副館長に就任。2002年4月から2008年3月まで第二代館長を務める。

びわ湖ホール初代館長の赤松良子氏は、今年2月6日に逝去されました。

滋賀県では、1980年代半ばから「県民文化会館」建設の検討を開始。数年に及ぶ検討の結果、オペラ上演を可能とする「びわ湖ホール」を建設する方針が定まり、1993年３月に設計コンペが行われ、実施設計の後、3年間に及ぶ工事が始まった。

総額で245億円というビッグ・プロジェクトを成功に導くためには大きな力を持つ方が必要と判断した滋賀県は、1995年4月に館長予定者として赤松良子さんを滋賀県顧問にお迎えした。

赤松さんは労働省婦人局長として1985年に男女雇用機会均等法を成立させた後、ウルグアイ大使を務められ、その任を最後に退官。細川内閣、羽田内閣で文部大臣を務められた。

その後は女性の活躍を支援する数々の活動を続けられていた。

一方、現役時代、ニューヨークやウィーンでの公務の合間にふれたオペラの虜になっておられた。

建物も未だ出来ていない「びわ湖ホール」の館長予定者として滋賀県顧問を引き受けてくださったのもニューヨークやウィーンでのオペラ体験があったからであろう。

館長予定者に赤松良子さんを得て、次は芸術監督をどなたにお願いするかが大きな課題になった。赤松顧問とも相談して当時日本のオペラ界の第一人者と目されていた若杉弘氏に芸術監督をお願いすることになり、赤松さんから就任要請をしていただいた。

滋賀県の要請を受けた若杉弘氏は、就任の条件として「年に一度は日本人のオペラ歌手による本格的なオペラを制作上演すること」「感受性豊かな若い人たちに向けた青少年オペラ劇場と青少年シンフォニーホールを開催すること」を挙げられた。

この若杉氏の発言を受けて赤松さんが「プロデュース・オペラにはヴェルディを取り上げてほしい」と要請。若杉氏が「わかりました。ヴェルディには20数本のオペラがあるが、日本でまだ上演されていない作品が半分ほどあるのでこれらを順次上演していきましょう」と応えられた。

1998年9月5日（土）「びわ湖ホール開館記念オープニング・ガラ」より

ヴェルディの日本初演オペラ・シリーズが立ち上がった瞬間であった。

若杉氏は1996年10月、びわ湖ホールの芸術監督に就任。開館後ヴェルディの日本初演のオペラを毎年一本ずつ、計９作品がびわ湖ホールで制作上演された。

びわ湖ホールの建設は、予定通り順調に進み、着工から３年後の1998年3月に竣工、5月に完成記念式典、7月31日から8月2日までの3日間、5回の建物と舞台機構をお披露目する内覧会を開催し、5,500人もの人が見学に訪れた。

そして迎えた開館日の９月５日、オープニング・ガラ公演でびわ湖ホールの歴史が幕をあけた。

琵琶湖に因んでロッシーニのオペラ『湖上の美人』、チャイコフスキーのバレエ「白鳥の湖」、華やかな乾杯の場面を含むヨハン・シュトラウス二世のオペラ『こうもり』の３つの演目から抜粋した名場面集で構成された公演であった。

若杉芸術監督の提案によって、式典は行わず、『こうもり』公演中の祝宴の場に招かれた客として赤松館長と國松滋賀県知事が登場してあいさつをするという趣向で、お二人ともオペラの登場人物のごとく堂々とあいさつされ観客の拍手を浴びた。

滋賀県立芸術劇場
びわ湖ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号
TEL.077-523-7133 FAX.077-523-7147
https://www.biwako-hall.or.jp/

びわ湖ホール 検索

チケットInformation

インターネット予約 https://www.biwako-hall.or.jp/

電話予約 チケットセンター TEL.077(523)7136

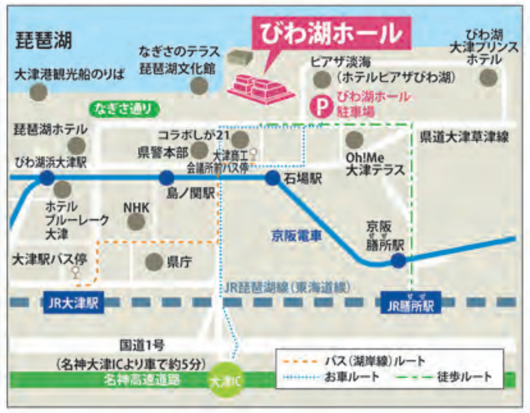
窓口販売 2階チケットセンター

10:00〜19:00／火曜休館　※休日の場合は翌日。

※チケット料金は消費税込の価格を表示。　※(　)内は友の会会員料金。　※一部公演を除き全席指定。
※一部公演を除き6歳以上入場可。

【青少年割引当日券の販売】 青少年割引当日券がある公演は、公演当日に残席がある場合に限り、青少年（24歳以下）の方に、半額で当日券を発売いたします。SS〜E席のみ。U30・U24席は除く。※劇場窓口のみ取扱い。学生証など年齢のわかるものをご提示ください。

【シアターメイツ優待公演】 シアターメイツチケットはびわ湖ホールチケットセンターのみの取扱い（電話・窓口のみ）。



〈アクセス〉

大阪から新快速で約40分、京都から約10分　名古屋から新幹線／京都駅のりかえで約60分

- JR琵琶湖線（東海道本線）「膳所（ぜぜ）」駅より徒歩約15分、または 京阪電車のりかえ「石場」駅より徒歩約3分
- JR琵琶湖線（東海道本線）「大津」駅より徒歩約20分

《駐車場のご案内》有料849台 24時間営業　料金：7:00〜23:00　1時間毎210円（4時間経過後1時間毎110円）
23:00〜 7:00　1時間毎110円（時間内最大料金420円）

滋賀県立文化産業交流会館
Shiga Theatre for Cultural and Industrial Development

〒521-0016 滋賀県米原市下多良2-137
TEL.0749-52-5111 FAX.0749-52-5119 https://www.s-bunsan.jp/

文産 検索

チケットInformation

インターネット予約 https://biwako-arts.tstar.jp

パソコン（座席選択可）、スマートフォン（座席選択不可）から24時間いつでもチケット予約・購入ができます。お支払いは、クレジットカードのご利用のほか、全国のセブンイレブン・ファミリーマートでのお支払い・チケットの受け取りも可能です。（一部公演、席種を除く）

【利用方法】 ①チケット予約・購入　②チケットの受取（会館窓口 or セブンイレブン・ファミリーマート）

※お支払い、チケットの受取方法をお選びいただき、期日までにお手続きください。お支払い、チケットの受取方法により、代金の他に手数料がかかります。

電話予約、窓口販売 直接、下記までお問い合わせください。

滋賀県立文化産業交流会館 TEL.0749(52)5111

※月曜休館。月曜日が休日の場合はその翌日以降の休日でない日。年末年始（12月29日〜1月3日）

〈アクセス〉

（電車でお越しの方）
JR新幹線・琵琶湖線・東海道本線・北陸本線 米原駅西口より徒歩7分

（お車でお越しの方）
北陸自動車道米原インターより約10分　または　名神高速道路彦根インターより約15分

《駐車場のご案内》360台（無料）

湖響No.101　令和6年6月20日発行　｜発行｜ 公益財団法人びわ湖芸術文化財団　｜編集｜ 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール　TEL.077-523-7133 ／ 滋賀県立文化産業交流会館　TEL.0749-52-5111

滋賀県立芸術劇場
びわ湖ホール
BIWAKO HALL

湖響 KOKYO
Plus Art journey えいじゃに
＋滋賀県立文化産業交流会館

びわ湖芸術文化財団・舞台芸術情報誌

2024.Summer　NO.101

Contents

共同制作オペラ『竹取物語』…… P2・3
びわ湖ホール声楽アンサンブル・ニュース …… P4・5
公演Report：プロデュースオペラ『ばらの騎士』
びわ湖の春 音楽祭 …… P6
公演Pick up!! 「室内楽への招待」〈弦楽四重奏特集〉…… P7
プロデュースオペラ『死の都』〜上演に寄せて …… P8
びわ湖ホールからのお知らせ …… P9
えいじゃに・滋賀県立文化産業交流会館より …… P10・11
初代館長　赤松良子さんをしのぶ …… P12

「びわ湖の春　音楽祭」2024〜夢と憧れ〜より
石田泰尚（ヴァイオリン）ロビーコンサート

全国共同制作オペラ　沼尻竜典作曲

歌劇 竹取物語 制作発表

11月23日、24日にびわ湖ホールの大ホールで上演、その後全国3都市で上演する、沼尻竜典作曲『竹取物語』の制作発表会見をびわ湖ホールで行いました。

左から、村田和彦（びわ湖ホール館長）、青木直人（やまぎん県民ホール支配人）
中村敬一（演出）、阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督／指揮）
砂川涼子（かぐや姫役）、中島英司（iichiko総合文化センター館長）
林 美里（札幌コンサートホール支配人）

この公演は、文化庁の助成を得て国内の劇場と共同で新制作するもので、びわ湖ホール公演で幕を開け、12月1日にiichiko総合文化センター（大分県）、7日に札幌コンサートホールKitara、15日にやまぎん県民ホール（山形県）と順に上演します。

公演の注目点は、びわ湖ホール芸術監督、山形交響楽団常任指揮者を務める阪 哲朗が初めてこの作品を指揮することです。阪が、日本語作品をどのように指揮するのか、さらに昨年6月に97歳で亡くなった日本オペラ演出の巨匠栗山昌良の原演出を中村敬一が再構成した日本の美を極めた演出にも期待がかかります。

キャストは、2022年の公演で初めて「かぐや姫」役を歌い好評を得た砂川涼子が同役を演じ、初演時から大伴御行を務めている晴 雅彦が今回も同役で出演します。

Message

母国語の作品なので、より深いディスカッションをしながら演奏できるのは、楽しみです

びわ湖ホール芸術監督：阪 哲朗

この作品には昭和の歌謡曲のような、日本の独自の文化も入っています。普段は外国語のオペラを手掛け「外国人だろお前は」と何十年も言われてきたので、逆に母国語だと表現や音と言葉の関係などに自信をもって臨めると思っています。

ただ、正しく発音できていないと、日本語なのに何を言っているかわからなくなるので、正しい発音や歌とオーケストラのバランスなど、普段とは違うことに神経を使う必要もあります。

これまでは、作曲者である沼尻さんが自演しています。例えば音楽史上ではR.シュトラウスが指揮と作曲の両方で名高いのですが、自作を他の指揮者が手掛けたときに「こういう曲を書いたつもりはないんだけど」と言ったそうです。僕は、この発言には「こんな風に書いたつもりではないけれど素晴らしい」とポジティブな面と「そんな風には書いていない」というネガティブな面の両面があると思います。名作はいずれ多くの指揮者が手掛けることになりますが、今回はどちらになるのかわかりません。そこは聴いた皆さまと共有したいと思っています。

日本語の作品なのでどういう風に展開していくか、ちょっとしたニュアンスにこだわることができる一方で、やりすぎると全体が見えなくなるので、より深いディスカッションをしながら演奏できるのは楽しみです。今回が、作曲家の手を離れる貴重な瞬間になるので、それを皆さまと楽しめたらと思っています。

Message

大きさや形が違う各地のホールで、作品の素晴らしさとそれぞれの良さを生かした演出をしたい

演出：中村敬一

原作はきちんとした小説で、ドラマの骨格がしっかりしたよくできている作品です。それを沼尻さんが台本と作曲を手掛け、小説から必要な情報量を確保して、お客様にドラマを伝えるという点でとてもよくできた作品だと思います。みんなが知っている単なるかぐや姫の物語ではなく、音楽的な中身を持っている作品だといえます。

初演の演出家の栗山さんは、僕もたくさんのお仕事でご一緒させていただきましたが、新劇界を担ってこられ、伝統芸能にも造詣が深く、日本の戦後のオペラに深くかかわってこられました。

栗山先生は沼尻さんが書いた台本と音楽の中から改めて作品の核心にあるものを示してくださいました。それを踏襲する形で発展させて公演できることを大変うれしく思っています。

今回は各地の大きさや形が違うホールで行いますが、その中で同じような味付けのオペラとして楽しんでいただき、なおかつそのホールの良さも生かした演出をする、それが僕の腕の見せどころではないかと思います。

全国共同制作オペラ　オペラへの招待

沼尻竜典作曲『竹取物語』 新制作（全5景/日本語上演、日本語・英語字幕付）

2024年11月23日（土・祝）・24日（日）両日14：00開演［大ホール］

SS席9,900（9,350）円　S席8,250（7,700）円　A席6,600（6,050）円　B席4,950円　C席3,850円
青少年（24歳以下）S～C席3,300円　シアターメイツS～C席1,650円
友の会優先発売：7月25日（木）　一般発売：7月27日（土）

［びわ湖ホール公演］
指　揮：阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）
演　出：中村敬一（原演出：栗山昌良）
管弦楽：日本センチュリー交響楽団
合　唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル・竹取物語合唱団

出　演：びわ湖ホール声楽アンサンブル

かぐや姫	砂川涼子**（11月23日） 高田瑞希（11月24日）
翁（おきな）	迎 肇聡*
媼（おうな）	森 季子*
帝	西田昂平
石作皇子（いしつくりのみこ）	有本康人
庫持皇子（くらもちのみこ）	大野光星
阿倍御主人（あべのみうし）	市川敏雅*
大伴御行（おおとものみゆき）	晴 雅彦**
石上麻呂足（いそのかみのまろたり）	平 欣史
大将	有ヶ谷友輝
月よりの使者	徳田あさひ
石上麻呂足の使者	山元柊二（大津児童合唱団）
職人	有ヶ谷友輝、奥本凱哉 古屋彰久*、五島真澄* 砂場拓也*、林 隆史*

*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー、**客演

会見での阪（中央）、中村（左）、砂川（右）

BIWAKO-HALL Close・Up（クローズ・アップ）

砂川涼子 インタビュー

（ソプラノ/かぐや姫役）

日本を代表するソプラノ歌手の一人である砂川涼子は、びわ湖ホールでは数々のオペラ出演でお馴染みの存在です。『竹取物語』では、2022年に作曲者の沼尻竜典の指揮でかぐや姫役を演じ、時代を超えたさまざまな音楽のスタイルが混在する作品を見事に歌い、絶賛されました。今回は阪 哲朗の指揮で再び同役に挑みますが、役に寄り添ったより深い表現が見所のひとつです。

©Yoshinobu Fukaya

人間と月の使者という2つの面を持った かぐやの心情に共感していただけるように 作品の真価をより深く表現していければと思っています。

―かぐや姫役は2度目ですが、日本の創作オペラで同じ役を複数回、演じるというのはなかなかないのでは。

2022年に初めてかぐや姫役をやらせていただき、とても素晴らしい体験でした。日本の創作オペラは、一度上演されると再演されることが難しいなかで、再度この役を演じることができ、しかも全国4か所で歌わせていただけるとのことで、オファーをいただいたときには、ぜひやらせてくださいとの気持ちで出演をお引き受けしました。

―この作品は、日本で作られたオペラの中でも、本格的なアリアが多く歌われることが初演時に注目されました。

そうですね。求婚者たちに歌う場面、私はこの世のものではないという告白、育ててもらったおばあさんやおじいさんとの別れのシーン、手紙のシーンなど、魅力的なアリアがたくさんあります。

リサイタルでこれらのアリアと間奏曲を組み合わせて、短い「一人オペラ」のように歌ったこともあるのですが、ちゃんと物語がわかるようになっていて素晴らしいと思いました。

―さまざまな音楽のスタイルが同居しているという点が特徴の作品ですが、どのように感じられていますか。

通常のオペラを歌う感じとは少し違います。でも歌謡曲やミュージカルのような感じで歌えばうまくいくわけでもないので、様々なスタイルを自分の中で咀嚼して組み立てなければ、うまく表現できない難しさを感じました。

基本的には中音域で、客席でも言葉が聴きとれるように書かれています。その一方でオーケストラの編成が大きいので、ヨーロッパのオペラ作品を歌うような感覚で歌ってしまうと言葉がわかりにくくなります。日本語のオペラに関しては、まず言葉を美しく響かせることが大事だと思いますので、指揮者の方とコミュニケーションを十分にとって、良いバランスを作ることが重要です。

2022年1月の公演より
左から砂川（かぐや姫）、森 季子（媼）、迎 肇聡（翁）

―今回、指揮者が阪 哲朗になります。

指揮者が変わると音楽も大きく変わると思います。歌う方は同じ気持ちでいても、音楽の作りが違うと全体が変わりますので、新しいかぐや姫像をお届けできるのではないでしょうか。

阪さんは、オペラの経験が豊富で、どのように歌えば、一番良い形で聴いている方に届くのかを場面ごとに的確に歌い手に伝え、導いてくださるところがいつも素晴らしいと感じています。

人間と月の使者という2つの面を持ったかぐやの心情にお客様が共感していただけるように歌とお芝居を前回よりもさらに充実させて、作品の真価をより深く表現していければいいなと思っています。是非楽しみにしていただきたいと思います。

プロフィール

砂川涼子　Sunakawa Ryoko

武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。ミラノで研鑽を積む。第34回日伊声楽コンコルソ優勝。第69回日本音楽コンクール第1位。第12回　R.ザンドナイ国際声楽コンクールでザンドナイ賞受賞。第16回五島記念文化賞・オペラ新人賞受賞。藤原歌劇団や新国立劇場等各地で『カルメン』『魔笛』『ホフマン物語』『ラ・ボエーム』『フィガロの結婚』『ファウスト』『夕鶴』等、多数の作品に出演。びわ湖ホールでは『椿姫』ヴィオレッタでデビューを飾り、『死の都』『オテロ』『ドン・パスクワーレ』『ラインの黄金』『トゥーランドット』『神々の黄昏』『竹取物語』等で主要な役を務め、可憐な舞台姿と聴くものの心を震わせる歌声で高い人気を得ている。武蔵野音楽大学講師。日本オペラ協会、藤原歌劇団 所属

中村敬一

福井 敬

関連企画 **「オペラ演出家 栗山昌良を語る」**

11月4日（月・休）14:00～16:00［中ホール］

一般1,650円 全席自由席　友の会優先発売：10月3日（木）　一般発売：10月5日（土）

2024年度のびわ湖ホールは、栗山昌良演出による『三文オペラ』、『竹取物語』、『死の都』とオペラ3作品を上演します。この上演に先立ち、栗山氏と関わりの深かった演出家、中村敬一と日本を代表する歌手の福井 敬が過去の映像やエピソードを交えて、演出家 栗山昌良の作品の魅力に迫ります。

びわ湖ホール声楽アンサンブル 2024 NEWS

日本唯一の公共ホール専属の声楽家集団、びわ湖ホール声楽アンサンブル
2024年度もオペラ公演や定期公演、音楽の普及活動など
びわ湖ホール独自の創造活動の核として積極的に活動します！

びわ湖ホール声楽アンサンブル
第79回定期公演・東京公演 vol.15

4人の作曲家たち
～フォーレ、ドビュッシー、ラヴェル、プーランク～

さまざまな声楽曲に取り組む定期公演。79回となる今回はオペラや合唱指揮者として活躍するフランス音楽のエキスパート佐藤正浩を指揮に迎え、フランス近代を代表する4人の作曲家の歌曲や合唱曲をお贈りします。

また、びわ湖ホール公演の2日後には、東京でも同じプログラムをお届けいたします。

指揮：佐藤正浩
独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル　ピアノ：下村 景

［曲目］
フォーレ：ラシーヌの雅歌、月の光、マンドリン、夢のあとに、マドリガル
ドビュッシー：星の夜、美しき夕暮れ、巷に雨のふるごとく
　　海は大伽藍よりも美しい、シャルル・ドルレアンの3つの歌
ラヴェル：3つの歌、ヴォカリーズ、花嫁の目覚め
　　「ドゥルシネアに思いを寄せるドン・キホーテ」より“空想的な歌”
プーランク：「7つの歌」より“美と似たもの”、“マリー”
　　「フランスの歌」より“かわいい小さなお姫様”
　　ヴァイオリン、ホテル、愛の小径、平和への祈り

●第79回定期公演
10月12日（土）14:00開演 びわ湖ホール［小ホール］
一般3,300（2,750）円　青少年（24歳以下）1,650円　チケット発売中

●東京公演vol.15
10月14日（月・祝）14:00開演 東京文化会館［小ホール］
一般4,400（3,850）円　青少年（24歳以下）2,750円　チケット発売中

『びわ湖ホール声楽アンサンブル 第79回定期公演に寄せて』

佐藤正浩（指揮）

もう20年前になるだろうか、声楽アンサンブルの定期公演を指揮させていただいた事がある。その時は〈フランスオペラの花束を〉と題しオペラの作品を取り上げたが、今年10月の定期公演では、やはりフランスものではあるが、合唱曲とメロディー（歌曲）を取り上げる。近代フランスを代表する作曲家である、フォーレ、ドビュッシー、ラヴェル、プーランクの合唱曲とメロディーを交互に演奏してみようと思う。4人の作曲家はそれぞれに違った個性を放つが、その知られざる合唱曲や、耳馴染みのある典雅なメロディーを、声楽アンサンブルの新たなメンバーと演奏できるのは大いなる喜びである。

有名なフォーレの「ラシーヌの雅歌」や「月の光」「夢のあとに」、珍しいドビュッシーとラヴェルの合唱曲、「美しき夕暮れ」「ヴォカリーズ」、プーランクの「フランスの歌」など。最後にはプーランクの歌曲「平和への祈り」を、合唱に編曲してお贈りします。私も少しだけピアノを弾きます。

佐藤正浩
Sato Masahiro
東京藝術大学声楽科を卒業後、ジュリアード音楽院ピアノ伴奏科に学び修士号（MM）を取得。サンフランシスコ歌劇場に専属コーチとして就任したのを皮切りに、リヨン国立歌劇場、パリ・シャトレ座等のコレペティトゥアとして活躍する。
指揮者として、英ダーティントン音楽祭において『イドメネオ』でデビュー。

第78回定期公演　The オペラ！を行いました。

Report 開館25周年。若杉 弘初代芸術監督へのオマージュのプログラムが組まれました。

2024年
・3月23日（土）びわ湖ホール 小ホール　・3月24日（日）東京公演vol.14東京文化会館 小ホール

今回は、びわ湖ホール開館25周年ということで、指揮・ピアノに河原忠之を迎えて、大曲ヴェルディ「レクイエム」。そして声楽アンサンブルが出演する青少年オペラ（現・オペラへの招待）の第1回目の演目として初代芸術監督の若杉 弘が選んだブリテンの『小さな煙突そうじ屋さん』を小道具と衣裳を付けた演奏会形式で上演しました。

演奏の合間に河原は「25周年を迎えたびわ湖ホールの素晴らしい歴史の中で私に何ができるか考え、今回のプログラムは若杉 弘マエストロへのオマージュとして選びました。レクイエムは、戦争を繰り返す人類の愚かさ、今この瞬間も戦争だけでなく、地震などの天災で亡くなった方々すべてに。ブリテンの『小さな煙突そうじ屋さん』は、一人の小さな子どもを救うことは、全世界の子どもを救うことだと信じて、音楽、そしてオペラの世界にみなさまをお連れします。そして、音楽、オペラが人類にとってかけがえのないものだと感じていただくために上演したいと思います。ヴェルディの「レクイエム」を上演した直後に『小さな煙突そうじ屋さん』をやるという無謀ともいえる挑戦ができるのは、びわ湖ホール声楽アンサンブルのみなさんの実力があってこそです」と語りました。

ブリテン：「小さな煙突そうじ屋さん」東京文化会館公演

ヴェルディ：「レクイエム」びわ湖ホール公演

新メンバーが加わりました。

びわ湖ホール声楽アンサンブルに新たに4人のメンバーが加わりました。それぞれのメンバーに
Q1. メンバーとしての生活には慣れましたか？
Q2. びわ湖ホールで挑戦したいことは？ という2つの質問に答えてもらいました。（5月に行いました）

小林由香（ソプラノ）
Kobayashi Yuka

国立音楽大学音楽科・演奏創作学科声楽専修卒業。公益財団法人板橋区文化・国際交流財団主催第39回板橋クラシック音楽オーディション入賞。二期会オペラ研修所第65期マスタークラス修了。『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ役、『イタリアのトルコ人』ザイダ役を演じる。これまでに声楽を譽田昭宏、故太田直樹、加納悦子、小鉄和弘、佐々木典子の各氏に師事。

Q1. 無我夢中で振り返る間もなく来てしまいましたが、もう入団から2ヶ月以上経つのですね。
全てが新しい環境で、ガチガチに緊張していた時に比べて随分自分らしく過ごせるようになってきました。いつもあたたかく、明るく接してくださるメンバーや周りの方々のおかげです。 初めての経験に思い悩むこともありますが、悩む時間も楽しみの一つと思って日々奮闘していきたいです。

Q2. びわ湖ホールでの演奏会では、とにかくお客様を身近に感じます。どの舞台にもこんなにも多くのお客様が楽しみに観に来てくださるのかと圧倒されています。同時にどうすれば演奏を一層楽しんでいただけるのかと考えることが増えました。楽しかった！と思っていただける演奏をすることが、私にとってチャレンジ第一歩です。

©深谷義宣/auraY2

岩石智華子（アルト）
Iwaishi Chikako

神奈川県出身。桐蔭学園高等学校、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程声楽専攻修了。声楽を稲葉明子、高橋さやか、大島洋子、三縄みどり、手嶋眞佐子の各氏に師事。第68回全日本学生音楽コンクール第3位。第16回日本演奏家コンクール第1位を受賞。これまでに藝大大学院オペラ『フィガロの結婚』で花娘役、『コジ・ファン・トッテ』ドラベッラ役を演じるほか、「第九」「ミサ曲ハ短調」や「メサイア」、「レクイエム」「戴冠ミサ」等のアルトソリストを務める。2022年、CD「高橋雅光童謡曲集どんぐりっこのメロディ」をALM Recordsよりリリース。

Q1. 美しい琵琶湖を望めるびわ湖ホールで、毎日音楽に囲まれながら生活できることが何よりも幸せです。メンバーの皆さんお一人おひとりの素晴らしい歌声にたくさん刺激をいただいています。稽古後や公演後にメンバー達とお茶や食事をしたりする時間もとても楽しくリフレッシュになっています♪

Q2. 声楽アンサンブルでの活動は、滋賀県内の小中学校を巡回して生徒達に音楽を届けたり、合唱曲や歌謡曲を演奏したり、大ホールでオペラを歌ったり、演奏場所も演奏する曲のジャンルも多岐に渡ります。色々な音楽を吸収できる環境に感謝して、1回1回のステージで自分自身に挑戦しながら、全ての公演で素敵な音楽をお届けできるように頑張りたいです。

©深谷義宣/auraY2

徳田あさひ（アルト）
Tokuda Asahi

宮崎県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、同大学院音楽研究科修士課程オペラ専攻を修了。学部卒業時に同声会賞ならびに佐々木成子賞を受賞し、同声会新人演奏会に出演。第68回藝大オペラ定期公演『コジ・ファン・トッテ』にて、ドラベッラ役でオペラデビュー。朝日新聞社主催第73回「藝大メサイア」アルトソリスト。また、これまでにベートーヴェン「第九」、モーツァルト「レクイエム」等でソリストを務めている。

Q1. 先輩方の背中を追いかけながらではありますが、少しずつ慣れてきました！また、職員の方とも挨拶やお話をすることができ、日々穏やかな気持ちでお稽古に臨めています。
元々方向音痴なため、初めはホール内のあちこちで迷子になったりしていましたが、そちらの方もようやく慣れてきました！

Q2. 学生のころはどうしてもクラシックに偏っていたので、自分の可能性を広げるべくさまざまなジャンルの音楽に挑戦できたらいいなと思っています。自分のレパートリーをさらに増やしていきながら、先輩方からもたくさん吸収しつつ、このびわ湖ホールでもっともっと成長したいです！

有ヶ谷友輝（テノール）
Arigaya Tomoki

静岡県藤枝市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程オペラ専攻修了。在学時、第68回藝大オペラ定期公演『コジ・ファン・トッテ』フェッランド役としてオペラデビュー。他に『カルメン』ドン・ホセ、『仮面舞踏会』リッカルド等を演じる。ベートーヴェン「第九」等のソリストを務める他、ヴェルディやワーグナーといったロマン派の作品を主なレパートリーとしている。第35回市川市新人演奏家コンクール優秀賞。池田貴宗、市原多朗、福井敬、清水徹太郎の各氏に師事。

Q1. 様々な公演の準備と本番が並行して行われるということで入団当初はかなりてんやわんやしていました。しかし1ヶ月が経ち、今では自分の中で優先順位を決め、落ち着いて向き合うことができるようになってきました。明るくて優しい先輩、スタッフの皆様に囲まれてのびのびと歌っています。

Q2. 小さい頃から音楽に触れる機会が多く、中学時代には合唱、高校、大学はオペラを中心としたクラシックを勉強してきました。もちろん大好きなジャンルではありますが、それと同時に、ポップス、ジャズなど他のジャンルを聞くことが好きなので、「美しい日本の歌」などの公演を通して、クラシック以外のジャンルも歌える万能歌手になれるように頑張りたいです！

Report 学校巡回公演　県内の小・中学校10校に「学校巡回公演」で歌声を届けました

5月9日から17日までのうち5日間、「学校巡回公演」として県内の小・中学校10校で本格的な演奏会を行いました。子どもたちに音楽・歌の魅力を味わってもらいたい、心に残る音楽体験を届けたいという思いから2001年に始まったこの試みは、コロナ禍の2020年度に中止した以外は毎年行っています。

オペラアリアからアニメの主題歌まで、約50分のプログラムからなっています。5月9日に行った県立水口東中学校では、体育館に集まった250人の生徒を前に各声部の紹介からはじまり、同校の校歌、オペラ「ホフマン物語」からオランピアのアリアなどが披露され、最後は全員で「Belive」を合唱しました。

公演後、生徒の一人は「本当に素晴らしい歌声で感動して、ずっと聴いていたい気持ちになった」と話していました。

Report フラッシュモブ　国スポ・障スポ、開催500日前をフラッシュモブでPR

滋賀県で行われる第79回国民スポーツ大会（国スポ）、第24回全国障害者スポーツ大会（障スポ）の総合開会式までちょうど500日となった5月16日。開催を盛り上げるカウントダウン企画として、大津駅前で、声楽アンサンブル4人によるサプライズの「フラッシュモブ」（複数の人が突然パフォーマンスを繰り広げる）が行われました。

大会マスコットのキャッフィーと

午後5時30分、駅に向かう雑踏のなかで、テノールの奥本凱哉が「乾杯の歌」を歌いだし、居合わせた人を驚かせ、間を置かずにソプラノの高田瑞希が別の方向から歌いながら登場、次いで山内由香と大野光星が加わり、4人で熱唱、さらに大会のイメージソング「シャイン！！」を披露しました。

家路を急ぐ人々も足を止め、その歌声に拍手を贈っていました。

公演Report

びわ湖ホール プロデュースオペラ

R.シュトラウス作曲『ばらの騎士』 2024年 3月2日(土)・3日(日)

指揮・演出・歌手の三拍子が揃った名演を展開

阪 哲朗がびわ湖ホール芸術監督に就任して初のプロデュースオペラは、阪が掲げた年間テーマ「ウィーン」のラストを飾る『ばらの騎士』となりました。

新型コロナウイルス感染症が、5類感染症に移行したことで、2020年の『神々の黄昏』以来、4年ぶりの本格舞台上演が復活しました。このオペラは演出、指揮、キャスト、オーケストラと全て日本人・団体での初の上演ともなりました。

演出の中村敬一は、華やかな宮廷文化を美しく表現した演出で、第3幕の三重唱では星空を映しだし宇宙的なスケールを表現。数多い登場人物にもそれぞれのキャラクターを与えるなど、全体に緊張感を絶やさず生き生きとした舞台を作りました。

©古都栄二(テス大阪)

第2幕:ファーニナルの貴族の館の華麗なセットが舞台。前列左よりゾフィー(石橋栄実)を支えるオクタヴィアン(八木寿子)、中央にはオクタヴィアンの剣で負傷したオックス男爵(妻屋秀和)

©古都栄二(テス大阪)

第1幕冒頭の元帥夫人(森谷真理=左)とオクタヴィアン(八木寿子)(3月2日)

©古都栄二(テス大阪)

2日目(3月3日)の元帥夫人(田崎尚美=左)とオクタヴィアン(山際きみ佳)

キャストでは、オックス男爵役の妻屋秀和が豊かな経験を生かして初日の舞台をリード、別組のオックス男爵役の斉木健詞も好演。元帥夫人を演じた森谷真理、田崎尚美、オクタヴィアン役の八木寿子、山際きみ佳、ゾフィー役の石橋栄実、吉川日奈子らも、自らの個性と充実した歌唱で、作品の魅力を歌いあげました。

そして、作品に対する理解と共感によって、作曲者の意図した世界の神髄を京都市交響楽団から引き出した阪の指揮が、非常に高く評価されました。

「びわ湖の春 音楽祭2024～夢と憧れ～」 2024年 4月27日(土)・28日(日)

全館とメインロビーに約14,000人が来場、コロナ前の賑わいが戻ってきました。

阪(前列左)、藤木大地(中央)、小林沙羅(右)がオープニング・コンサートを華麗に彩りました。

コロナ禍で規模を縮小しての開催を続けてきましたが、大・中・小全てのホールとメインロビーでの無料コンサートと全館での公演を5年ぶりに開催、屋外にもキッチンカーが並ぶなど、以前の賑わいが戻りました。

阪 哲朗指揮、京都市交響楽団にカウンターテナーの藤木大地、ソプラノの小林沙羅をソリストに迎え、オペラ、オペレッタのアリアなどの華やかなオープニング・コンサートで幕を開けました。

園田隆一郎指揮によるびわ湖ホール声楽アンサンブルのロビーコンサート

大ホールでは、滝川第二高等学校吹奏楽部、京都橘高等学校吹奏楽部がマーチングを披露、中ホールでは京都フィルハーモニー室内合奏団による「0歳児からのコンサート」、インドネシアのバリガムラン音楽を演奏する「ギータ・クンチャナ」を含む4つの公演を行いました。

小ホールでは阪の一押しのヴァイオリニストのダリボル・カルヴァイや、藤木大地、石田泰尚などおなじみの面々からレオンコロ弦楽四重奏団、バリトンの黒田祐貴、ピアノの川﨑翔子、箏の遠藤千晶など初登場の演奏家も音楽祭を盛り上げました。

メインロビーの無料コンサートにも小林沙羅、カルヴァイ、園田隆一郎指揮のびわ湖ホール声楽アンサンブル、石田泰尚という豪華な面々が登場。石田の公演では、メインロビーから3階の回廊まで約1,000人の聴衆が埋め尽くしました(表紙参照)。

そしてファイナル・コンサートでは、カルヴァイをソリストに、阪と京都市交響楽団がブラームスのヴァイオリン協奏曲を華麗に演奏、両日のべ約14,000人の観客を集めた音楽祭の幕を熱狂のうちに閉じました。

阪が、その才能にほれ込み招聘したカルヴァイは、小ホール、ロビーコンサート、ファイナル・コンサートで演奏、存在感を示しました。

お客様の声(アンケートより)

- すばらしい音楽に彩られた2日間でした。重たい体を引きずってきたのが、嘘のように心が安らかです。ありがとうございました。
- 大好きなアーティストの演奏を、地元でリーズナブルな価格で楽しませていただいて、ありがとうございました。
- ロビーコンサートの石田泰尚さん最高でした。小ホール公演のチケットが取れなかったのでかけつけました。

2024-25年公演 Pick up!!

「室内楽への招待」〈弦楽四重奏特集〉

2024-25年の「室内楽への招待」では、5つの世界の一線級の弦楽四重奏団が公演します。

歴史に残る大作曲家のほとんどが、このジャンルで作品を残し、各作曲家の作風のエッセンスが表れるともいわれ、一度、その音楽の魅力にはまると抜け出すことが難しいジャンルだといわれます。今回は、その多彩な魅力を味わいつくす好機です。

いよいよ弦楽四重奏の時代が到来か
―びわ湖ホールの室内楽への招待―

中村孝義
(大阪音楽大学名誉教授・音楽学)

わが国では、かつて室内楽、とりわけ弦楽四重奏曲というジャンルについていささか後ろ向きな時代が続いた。四重奏団を組織して演奏会を催しても、お客さんがそう簡単には集まらないため、それだけでは到底飯を食っていくことができない。だから奏者は片手間でやらざるを得なくなるが、それではとてもお客さんを満足させるほどのレヴェルに持っていけず、聴きに来たお客さんが二度と足を運ばないという悪循環をもたらし不毛の時代が続くことになったのだ。

しかしこのところどうも風向きが変わってきた。世界的に若手の優れた弦楽四重奏団が飛躍的に増大し、わが国にも室内楽に真剣に取り組む若い人が増え、世界的なコンクールでも優秀な成績を収めだしたのだ。それは聴衆の意識にも変化をもたらす。高い技術と真剣なまなざしで、しかもフレッシュな感覚をもって演奏された室内楽が実に面白いことに気が付き始めたのだ。となると劇場側でも、この分野に真剣に目を向け聴衆に提供していこうという姿勢が生まれてくる。まさに良い循環が回り出したのだ。

実はびわ湖ホールが2024年度に実施する室内楽シリーズは、まさにその典型の一つと言えるかもしれない。びわ湖の春 音楽祭での公演も含めれば、何と1年の間に6つもの弦楽四重奏団が招聘(へい)されることになった。

ドイツの若手で、ウィグモアホールやボルドーの国際弦楽四重奏コンクールに優勝した実力を日本の聴衆にも披露するために来日したレオンコロ弦楽四重奏団、すでにびわ湖ホールにも登場したことのあるベルギーの中堅実力派のダネル弦楽四重奏団、バルトーク国際弦楽四重奏コンクールなどで優勝し、恐らく今我が国の若手四重奏団のなかでトップを走っているのではないかと思われるクァルテット・インテグラ、それにすでに世界で十分な経験を重ね、今や確実にドイツの重鎮四重奏団への道を歩むヘンシェル・クァルテット、そしてトリを受け持つのが、現代の世界の弦楽四重奏界をリードするベルチャ弦楽四重奏団とエベーヌ弦楽四重奏団という二つの団の夢のような共演。

残念なことに、このご紹介が皆さんの目に触れるときにはレオンコロとダネルは終わってしまっているが、今からでも遅くはない。私が聴いた限り、技術の高さは当然だが、まだできてそう時間が経っていないわりに音楽の成熟の度合いが並々ならぬことに驚かされたクァルテット・インテグラは、守山と提携して異なるプログラムで2公演が楽しめるので、是非とも現在のわが国の若手四重奏団のレヴェルの高さを堪能して欲しいし、ヘンシェルに関しては、演奏会はもとより、室内楽を目指す若手に対する公開マスタークラスまで用意されている。きっと弦楽四重奏の奥の深さを知らしめてくれることだろう。それに二つの優れた団が手を組まない限り、優れた実演を耳にするのが非常に難しいメンデルスゾーンやエネスコの弦楽八重奏曲が、今をときめく二つの四重奏団の共演によって実現されるなど夢ではないかと驚いた。しかも彼らは、このプログラムを世界中で行うというのだから、決して余技などではなく真剣そのもの。これは聴き逃す手はない。今年はびわ湖ホールでの演奏会を通じて、弦楽四重奏に開眼し、病みつきになる人がきっと増えるに違いない。

ベルチャ弦楽四重奏団 ©Maurice Haas

エベーヌ弦楽四重奏団 ©Julien Mignot

特別コンサート

ベルチャ弦楽四重奏団&エベーヌ弦楽四重奏団

[曲目]
メンデルスゾーン:弦楽八重奏曲 変ホ長調 op.20
エネスコ :弦楽八重奏曲 ハ長調 op.7

2025年3月30日(日) 14:00開演 [大ホール]

一般6,600(6,050)円 青少年(24歳以下)2,200円
友の会優先発売:10月25日(金) 一般発売:10月27日(日)

©Felix Krammer

ヘンシェル・クァルテット

[曲目]
モーツァルト:弦楽四重奏曲 第22番 変ロ長調 K.589 「プロイセン(プロシャ)王第2番」
メンデルスゾーン:弦楽四重奏曲 第3番 ニ長調 op.44-1
ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第8番 ホ短調 op.59-2 「ラズモフスキー第2番」

9月29日(日)14:00開演 [小ホール]

一般4,950(4,400)円 青少年(24歳以下)2,200円
チケット発売中

関連企画

公開マスタークラス 講師:ヘンシェル・クァルテット

若手の四重奏団にヘンシェル・クァルテットが指導する様子を公開します。

受講生:①ラナンキュラス・カルテット ②ルシェリア・クァルテット

9月21日(土) 14:00開演 [小ホール] 全席自由席

一般1,650円 青少年(24歳以下)550円 チケット発売中

©Abby Mahler

クァルテット・インテグラ

[曲目]
ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第3番 ニ長調 op.18-3
三善 晃 :弦楽四重奏曲 第2番
ブラームス :弦楽四重奏曲 第3番 変ロ長調 op.67

2025年1月4日(土)14:00開演 [小ホール]

一般4,400(3,850)円 青少年(24歳以下)1,650円
友の会優先発売:9月27日(金) 一般発売:9月29日(日)

連携公演(連続2日で別プログラム)

ハイドン :弦楽四重奏曲 二短調 op.76-2「五度」
バルトーク :弦楽四重奏曲 第3番
ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第9番 ハ長調 op.59-3 「ラズモフスキー第3番」

2025年1月5日(日) 守山市民ホール 小ホール

主催・問い合わせ:守山市民ホール
TEL.077-583-2532(9:00～17:00火曜日と祝日の翌日は休館)
ホームページ:https://moriyamabuntai.com/wp/

2024年秋公演 Pick up!!

特別コンサート

上岡敏之 ピアノ・リサイタル

[曲目]
ドビュッシー :前奏曲集第2集より 第2曲「枯葉」、第8曲「水の精」
シューマン :クライスレリアーナ op.16
スクリャービン:ピアノ・ソナタ 第5番 op.53
ショパン :24の前奏曲集 op.28

9月26日(木) 14:00開演 [小ホール]

一般3,850円
青少年(24歳以下)1,650円
チケット発売中

ヴッパータール市立歌劇場、ザールランド州立歌劇場などドイツの名だたる歌劇場で音楽総監督を務め、日本では新日本フィルハーモニー交響楽団の音楽監督などを務めた上岡は、ピアノの名手としても名高く、ヴッパータール交響楽団初来日の際にモーツァルトのピアノ協奏曲第21番と23番を弾き振り、さらにソロCD録音や読売日本交響楽団のメンバーと室内楽公演を行うなど、ピアニストの力量も認められています。

びわ湖ホール芸術監督の阪 哲朗ともラフマニノフのピアノ協奏曲のソリストとして共演しており、阪が敬愛してやまない音楽家です。

上岡敏之 ©武藤章

びわ湖ホールプロデュースオペラ

コルンゴルト作曲

『死の都』

連続エッセイ Vol.1 上演に寄せて

2025年3月のプロデュースオペラでは、コルンゴルトの歌劇『死の都』を取り上げます。コルンゴルトは、世紀末文化と20世紀の新しい芸術が共存したウィーンでマーラーやR.シュトラウスなどに認められ“若き巨匠”として活躍。

エーリヒ・ヴォルフガング・コルンゴルト

1920年、23歳で書いた『死の都』は、ケルンとハンブルクの歌劇場で前代未聞の同時初演を行い、その名は欧州全土に広まります。しかし、ナチスのユダヤ人迫害の対象となり、1938年にアメリカへ亡命、ハリウッドで映画音楽の巨匠として君臨します。戦後は、欧州音楽界への復帰を目指すものの、その作風が「時代遅れ」とされ、忘れられていましたが、1980年代半ばから再評価が始まり、数多くの作品が演奏されています。

コルンゴルト：歌劇『死の都』（全3幕・ドイツ語上演）
初演：1920年12月4日ハンブルクとケルンでの同時初演
原作：ローデンバック「死都ブルージュ」
台本：パウル・ショット（父：ユリウス・コルンゴルトのペンネーム）
〈日本初演〉
演奏会形式：1996年9月8日 京都市コンサートホール
井上道義指揮 京都市交響楽団
舞 台 形 式：2014年3月8日・9日 びわ湖ホール
栗山昌良演出、沼尻竜典指揮 京都市交響楽団

舞台形式上演初演から11年、指揮に阪、新たなキャストを加えた、久々の『死の都』の上演を楽しみに待とう

音楽評論家　東条碩夫

「世界開闢（かいびゃく）のときから人の子の視線にさらされたことのなかった極点が、一瞬ともいうべきほんの2週間のうちに、2度までも発見されたのだ―」。これは1912年、ノルウェーのアムンゼン隊と英国のスコット隊がそれぞれ南極大陸の極地への到達を試み、何億年の歴史の中のたった1カ月の差で後者が敗れたという出来事について、シュテファン・ツヴァイクが書いた一文である（「歴史の決定的瞬間」辻ひかる訳、白水社刊）。

コルンゴルトの名作『死の都』の舞台形式日本初演が2014年3月、びわ湖ホールと新国立劇場とで行なわれた時に、私は何となくこの「南極到達」のことを連想しないではいられなかった。何しろ作品が誕生して90余年、日本で一度もその機会がなかった『死の都』の舞台形式上演が、偶然にも同時期に二つの大劇場でかち合ったのだ。そしてこの時、わずか4日の差で先んじたのは、びわ湖ホールだったのである。このことは、一応記憶しておいてもよいだろう。

ふたつの上演、それぞれに大きな特徴はあったものの、オーケストラの演奏を含めた音楽面では、明らかにびわ湖ホール側に軍配が上がったであろう。前芸術監督・沼尻竜典が指揮した京都市交響楽団の多彩な演奏は、実に魅力的だった。それに、鈴木 准、山本康寛、飯田みち代、砂川涼子、小森輝彦、黒田 博、迎 肇聡、晴 雅彦ら、歌手陣の熱演も見事だった。

一方、演出という面では、これはそれぞれに競うべき大きな特色があった。新国立劇場のそれは、フィンランド国立歌劇場のプロダクションで、カスパー・ホルテンの演出。パウルの亡き妻マリーの姿を舞台上に実際に具現化させ、パウルだけが彼女を「見て、感知できる」というユニークな設定にしていたのが特徴だった。一方、びわ湖ホールの舞台は故・栗山昌良の演出で、彼の主義主張を打ち出した、何の衒（てら）いもない、ト書きを重視したストレートな演出のものだった。観客としてどちらを採るか、この辺はもう、それぞれの好みの問題である。ただ、栗山演出の巧みな手法のひとつとして、舞台装置を反響板のような形状にし、歌手たちの声を分厚いオーケストラの大音響にマスクされずに客席へよく響かせるようにしていたことは注目されよう。このあたりは舞台美術家（松井るみ）の配慮も与（あずか）っているのでは、と思う。

また、劇中で「パウルの家」から「ブリュージュの街」へ場面転換される個所では、大掛かりなセリをはじめとする、びわ湖ホールの舞台機構のスペクタクルな威力（あれは見ものだった！）が発揮されていたことも印象的であった。こういう機構がもっといろいろな作品で活用されていれば面白いだろうに、と思うのだが、いかがだろうか？

さて、11年ぶりの再演になる2025年3月の舞台上演では、前述のプレミエの際に栗山を補佐していたベテラン演出家、岩田達宗が采配を振る。どんな趣向が加えられるだろうか。歌手陣は大半が一新されるが、山本康寛、迎 肇聡、晴 雅彦らはまた登場する。京都市交響楽団もピットに入る。そして指揮は、独墺のオペラに強い新芸術監督の阪 哲朗である！ 久しぶりの『死の都』を楽しみに待とう。

2014年3月9日　びわ湖ホール大ホール
山本康寛（パウル役＝左）、飯田みち代（マリー/マリエッタ＝右）

〈Profile〉東条碩夫 Tojo Hiroo
早稲田大学卒、FM東京で「TDKオリジナル・コンサート」をはじめクラシック音楽番組の制作全体に携わる。1975年文化庁芸術祭大賞番組（武満徹作曲「カトレーン」委嘱）制作。FM東京制作一課長、「ミュージックバード」（CS-PCM衛星放送）編成部長等歴任。
現在はフリーの評論家として新聞・雑誌等、テレビやFM番組に出演。2007年よりブログ「東条碩夫のコンサート日記」を公開。日本ワーグナー協会評議員。著書に「朝比奈隆　ベートーヴェンの交響曲を語る」（中公文庫）、「伝説のクラシック・ライブ　収録現場からみた20世紀の名演奏家」（Tokyo FM出版）

びわ湖ホールプロデュースオペラ
コルンゴルト作曲 歌劇『死の都』
2025年3月1日（土）・2日（日）
両日とも14：00開演［大ホール］

指　揮：阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）
演　出：栗山昌良　再演演出：岩田達宗
出　演：パウル　清水徹太郎*、山本康寛*
マリー　森谷真理、木下美穂子
フランク　黒田祐貴、池内 響
フリッツ　晴 雅彦、迎 肇聡*
*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー
管弦楽：京都市交響楽団
合　唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル

びわ湖ホールからのお知らせ

「びわ湖ホール友の会」会員募集中

一般会員

チケットの優先・優待販売や無料郵送、公演情報のご案内、館内レストランサービス、提携ホテルの利用割引などの特典・サービスを提供いたします。

年会費　2,500円（税込）

<お問い合わせ> びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

サポート会員

一般会員のサービスに加え、主催公演へのご招待、オペラ公演のゲネプロ（総稽古）へのご招待など、お得にお楽しみいただけます。

年会費　一口につき10,000円（税込）

<お問い合わせ> びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

特別会員

びわ湖ホールの舞台芸術に関する事業に賛同し、これを支援してくださる企業・個人様向けの会員制度です。

□主催公演へのご招待　□チケット優先予約・無料郵送　□ゲネプロへご招待
□情報誌やホームページへの会員名掲載　□メインロビーへの会員名掲示　など

詳しくはホームページをご覧ください。

年会費　一口につき100,000円（税込）　入会金不要　<お問い合わせ> びわ湖芸術文化財団 法人本部 営業部　TEL.077-523-7140

《特別会員》のみなさま

アマノマネジメントサービス株式会社／綾羽株式会社／新木産業株式会社／株式会社アルファス／一圓テクノス株式会社／いなみ矯正歯科／岩佐益男／上原恵美／宇高節子／エアスペンサー株式会社／株式会社栄光社／SMBC日興証券株式会社大津支店／NTT西日本滋賀支店／近江鍛工株式会社／大岸 実／大谷 巌公認会計士事務所／大津商工会議所／岡崎洋一／おかもと眼科クリニック／株式会社奥田工務店／小倉美佐子／オプテックスグループ株式会社／オリックス・ファシリティーズ株式会社滋賀支店／株式会社JOJI STABLE／株式会社関西みらい銀行／木村水産株式会社／京都信用金庫滋賀本部／京都橘大学／株式会社きんでん滋賀支店／株式会社キントー／草津電機株式会社／工藤 卓／granlumieグランルミエ／KKゴルフクラブ／京滋舞台芸術事業協同組合／京阪ホテルズ&リゾーツ株式会社 琵琶湖ホテル／甲賀高分子株式会社／小高得央／株式会社コングレ／株式会社笹川組／株式会社佐藤総合計画関西事務所／三精テクノロジーズ株式会社／株式会社しがぎん経済文化センター／株式会社滋賀銀行／滋賀近交運輸倉庫株式会社／滋賀県信用金庫協会／滋賀県信用保証協会／滋賀ヤサカ自動車株式会社／株式会社自然総研／株式会社清水屋呉服店／株式会社十字屋／公益財団法人秀明文化財団／株式会社昭和バルブ製作所／株式会社スマイディア／学校法人純美禮学園／成安造形大学／瀬田医院／ダイハツ工業株式会社滋賀(竜王)工場／株式会社ダイフク滋賀事業所／大和証券株式会社京都支店／高坂哲夫／タカヒサ不動産株式会社／高谷トマト／ちばレディースクリニック／塚本社会保険労務士事務所／株式会社ツジトミ／株式会社DGコミュニケーションズ／株式会社天下一品／トヨタモビリティ滋賀株式会社レクサス大津／鳥越久里／中川道子／西川 望／日新薬品工業株式会社／日本生命保険相互会社／日本ソフト開発株式会社／日本メンテナンス株式会社／日本メンテナンス株式会社大津支店／野村證券株式会社大津支店／羽泉正浩／パウ・クリエイト株式会社／長谷川公認会計士事務所／パナソニックEWエンジニアリング株式会社近畿支店／公益財団法人ハン六文化振興財団／株式会社日立建機ティエラ／日野精機株式会社／株式会社ビルディング・コンサルタントワイズ／びわ湖大津プリンスホテル／琵琶湖汽船株式会社／びわ湖放送株式会社／ふくた診療所／藤井絢子／兵神装備株式会社滋賀事業所／ホテルブルーレーク大津／増山公昭／株式会社松村電機製作所関西支店／豆藤／株式会社みずほ銀行／三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社／宮川印刷株式会社／music square 芝蘭会／村上孝弘／株式会社村田製作所野洲事業所／望田法律事務所／八百久／山科精器株式会社／ヤマハサウンドシステム株式会社大阪営業所／山本英司／税理士法人山本会計／ヤンマーグローバルエキスパート株式会社／横田昌和公認会計士事務所／立命館守山中学校・高等学校／龍谷大学吹奏楽部／ロマン楽器株式会社／株式会社ワコール／和田厚幸／渡辺朗夫

（五十音順・敬称略・一部非掲載／2024年5月30日現在）

舞台芸術の力でみなさまに感動と笑顔をお届けしたい！ ～舞台芸術創造活動にみなさまのご支援を～

びわ湖ホールでは、誰もが身近に舞台芸術に触れられるよう、様々な事業を展開しております。質の高い舞台芸術を創造する取り組みに、皆さまの深いご理解と多くのご支援をいただいてきました。ご芳名はびわ湖ホールのウェブサイトに紹介させていただいております。

素晴らしい舞台芸術を創造し、より多くの方に手軽にお楽しみいただくためには、関係者の熱意とたゆまぬ努力はもちろんのこと、皆さまの深いご理解とご支援が必要です。

「公益財団法人」である当財団へのご寄付については、税制上の優遇措置が適用されます。ウェブサイトからもお手続きいただけますので、舞台芸術の振興のため、引き続きご支援をお願いいたします。

<お問い合わせ> びわ湖芸術文化財団 法人本部 営業部　TEL.077-523-7140　詳しくは、びわ湖ホールホームページをご覧ください。https://www.biwako-hall.or.jp/about/arts-fund

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー：株式会社 叶 匠寿庵

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー：株式会社 木の家専門店 谷口工務店

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー：株式会社平和堂

お知らせ　2024年度のびわ湖ホール一部利用休止について

音響・照明の改修工事のため、下記のとおり一部施設を利用休止します。
何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

●休止施設　大ホール・中ホール・小ホール
●休止期間　大ホール・中ホール　2024年7月1日（月）～10月31日（木）
　　小ホール　2024年8月1日（木）～8月31日（土）
●休止しない施設　リハーサル室・練習室1～3・研修室・メインロビー

※ホール事務室、チケットセンター、レストランは通常どおり営業しています。

びわ湖ホールを借りるには

びわ湖ホールでは大ホール・中ホール・小ホール・リハーサル室・練習室・研修室の貸館を行っております。音楽、演劇、舞踊など舞台芸術の公演や練習、各種大会等にご活用ください。
施設利用のお申し込み方法、ご利用料金、ホールの空き状況など詳しくはお問い合わせください。

<お問い合わせ> びわ湖ホール管理部　TEL.077-523-7135

滋賀県立文化産業交流会館

Art journey

えいじゃに

※Art journeyからネーミングした「えいじゃに」では、「文化産業交流会館」とびわ湖芸術文化財団「地域創造部」からのイベント情報を発信します。気軽にArtの旅を楽しんでください。

祝 竹生島宝厳寺開創1300年！

記念の年に、新企画の「湖北百景－風雅の竹生島」では「竹生島」尽くしの公演を開催します。

今年も〈芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバル〉の季節がやってきます。当館のイベントホール内に芝居小屋を建て込み、様々な公演を行う一週間。どうぞこの特別な機会をお見逃しなく。

芝居小屋「長栄座」 夏のフェスティバル ラインアップ

7/27(土)～8/4(日)

浴衣特典
浴衣でご来場いただいた方には記念品をプレゼント！

チケットお申込はこちら➡

1 「湖北百景－風雅の竹生島」

©篠山紀信

山村友五郎　桂吉坊　塩見泰子

7月27日(土)・28日(日)
14:00開演

料金
一般3,500円
青少年(24歳以下)2,000円
※6歳以上入場可　全席指定

今年は、竹生島宝厳寺開創1300年という特別な年。724年、聖武天皇が夢枕でお告げを受け、僧行基を勅使としてつかわし、堂塔を開基させたのが始まりとのこと。この記念を祝し、日本舞踊の舞比べと、新旧落語聴き比べを堪能できる「竹生島」尽くしの公演を行います。出演は、山村流六世宗家の山村友五郎、第18回繋昌亭大賞等を受賞して益々勢いにのる桂吉坊。そして、総合司会にはテレビでお馴染みの塩見泰子気象予報士が登場！

プログラム　司会：塩見泰子(気象予報士)、小林昌廣

(オープニング) 滋賀邦舞連盟による舞「花を恋い」
〈出演〉音羽菊寿量、吉川智子、冨岡あも、深坂碧子

(第一部) 古典落語「青菜」(27日)・「化け物つかい」(28日)
〈出演〉桂吉坊
地唄舞「竹生島」
〈出演〉山村友五郎、山村若、山村侃
三味線：菊央雄司

(第二部) 新作落語「竹生島」
〈出演〉桂吉坊
常磐津「竹生島」【新振付】
〈出演〉山村友五郎、山村若、山村侃
浄瑠璃：常磐津巴瑠幸太夫、常磐津三代太夫
常磐津若音太夫
三味線：常磐津小欣矢、常磐津都史
上調子：常磐津小東矢
囃子：望月太明一郎、望月太八一朗、藤舎悦芳、望月善之
笛：藤舎伝生

近江のあたらしい伝統産業展　同時開催！

7月27日(土)・28日(日)　各日12:30開始

「湖北百景－風雅の竹生島」の期間中ロビーにて、湖北地域をはじめとする滋賀の伝統的工芸品や特産品等の展示、販売を行い、公演を盛り上げます。

竹生島へ行きませんか？

7月25日(木)～8月4日(日)

右記の期間中、長浜港または彦根港で竹生島への乗船券を購入される際、窓口で「湖北百景－風雅の竹生島」の入場券を提示いただきますと、入場券一枚につきお一人様、乗船料の20%を割引させていただきます。(使用済入場券でも可)

〈長浜港⇔竹生島〉
(中学生以上)3,400円➡2,720円 (小学生)1,700円➡1,360円

〈彦根港⇔竹生島〉
(中学生以上)3,200円➡2,560円 (小学生)1,600円➡1,280円

2 「津軽三味線と民謡の世界Ⅱ」

8月3日(土)　14:00開演

全国各地で演奏活動をしながら古典芸能をはじめ様々な音楽ジャンルに挑戦し、幅広い層から支持を集める駒田早代。当館で4年続けての出演となる今年は、師匠である松田隆行を特別ゲストに迎えて、さらに充実した内容でお届けします。

料金　一般3,000円　青少年(24歳以下)1,500円　全席指定
※6歳以上入場可

3 びわ湖ホール声楽アンサンブル 「美しい日本の歌」米原公演 vol.4

8月4日(日)　14:00開演

昭和から平成を彩った懐かしいメロディーを、情緒あふれる芝居小屋「長栄座」で堪能いただきます。びわ湖ホール声楽アンサンブルは、令和6年度からの新メンバー加入。新しいハーモニーにもご期待ください。

出演　指揮：本山秀毅　ピアノ：植松さやか
料金　一般2,500円　青少年(24歳以下)1,000円　全席指定
※6歳以上入場可

5月24日(金)「湖北百景－風雅の竹生島」の制作発表を行いました

〈左より〉竹村憲男(館長)、小林昌廣(監修、演出)、深坂碧子(出演)、山村友五郎(企画、出演)、桂吉坊(出演)

長栄座をさらに楽しむプレ企画

7月7日(日)
14:00開始

参加無料(要申込)

会場　滋賀県立文化産業交流会館　第1会議室

「湖北百景－風雅の竹生島」の演出を担当する小林昌廣と、同公演で「竹生島」の舞比べを披露するだけでなく企画構成も担当する山村友五郎による、豪華対談企画決定！企画意図や裏話も飛び出すユーモア満載のトークをお見逃しなく！

講師：小林昌廣(情報科学芸術大学院大学教授)
ゲスト講師：山村友五郎(山村流六世宗家)

お申込フォーム

小林昌廣

北の近江振興プロジェクト 北にきゃんせ音楽会、始動！

「県内外の方に、滋賀県北部の魅力を知っていただきたい」との思いから、滋賀県と協力して行う新企画がスタートしています。当館の「邦楽専門実演家養成事業」を経たメンバーで結成される滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」が、県北部の各地を訪ね、豊かな自然や歴史・文化遺産などの特性を活かしたミニコンサートやワークショップを5月から実施しています。9月の小劇場公演では、古典から初演の新作まで、箏曲の多彩な楽曲を披露します。

① 地域プログラム・米原 「青岸寺六湛庵コンサート」

5月26日(日) 14:00(既に終了)　青岸寺(米原市米原699)

新緑眩しい青岸寺の枯山水庭園を臨みながらの、吉澤延隆(箏奏者)と小川奈都子(滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」)による箏曲コンサート。米原在住の日本画家で植物などの生命の移ろいを表現する西川礼華の作品も展示し、それに触発された楽曲や箏の二重奏などを披露しました。「北にきゃんせ(北にいらっしゃい)」という当館の想いが通じたのか、県内外から多くのお客様にご来場いただきました。

青岸寺の庭園

② 地域プログラム・長浜 「チャレンジ！ 和楽器を弾いてみよう！」

参加無料(要申込)

日時　7月6日(土) 1回目／11:55　2回目／13:55
会場　ヤンマーミュージアム(長浜市三和町6-50)
定員　各10名　お問合せ・申込　TEL.0749-52-5111

ヤンマーミュージアムは、チャレンジ精神で新しい未来を切り拓いてきた創業者・山岡孫吉の意思を体現した「チャレンジミュージアム」。その場所で和楽器の演奏にチャレンジすることで、子どもたちに新しい発見をしてもらいたいという思いで開催します。

ワークショップのイメージ

③ 北の近江振興プロジェクト 「北にきゃんせ音楽会」

参加無料(要整理券)

オーケストラ、室内楽、合唱、独奏曲、映画音楽など広範にわたり作曲活動を行う山本和智作曲の新曲「El Norte」を初披露します。湖北の木之本町が和楽器弦の産地であることにちなみ、小劇場に弦を張りめぐらせる演出の演奏にも乞うご期待！

山本和智　©Jörgen Axelvall

日時　9月21日(土)
14:00開演
会場　滋賀県立文化産業交流会館小劇場
出演　滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」
片岡リサ(邦楽専門実演家養成事業　講師)
吉澤延隆(邦楽専門実演家養成事業　講師)
整理券配布　7月20日(土)開始　TEL.0749-52-5111

地域創造部情報

びわ湖・アーティスツ・みんぐる どうぶつおんがくたい × C³(シーキューブ) ～0歳からのどうぶつ音楽会～

動物をテーマにしたいろいろな音楽を、ちょっとおしゃれでカッコいいアレンジとダンスでお届けします！ 泣いたり騒いだりしてもOK、一緒に踊ってOK、演奏中の出入り自由！ 子どもから大人まで楽しめる1時間の濃くて短いプログラム。

日時　8月10日(土) 13:00開演
会場　びわ湖ホールリハーサル室
出演　どうぶつおんがくたい、ルリトラノオ弦楽四重奏団
料金　500円　※2歳以下無料　要申込
お問合せ・申込　地域創造部　TEL.077-523-7146

音楽と絵画でつづるおうみの民話vol.1 プレイベント「伊吹山と神のささやき」

県内の作曲家×演奏家×美術家×地元高校生、ジャンルを超えて様々なアーティストたちが「民話」でつながる演奏会、ライブペインティング、ワークショップを開催します。10月27日の本公演と合わせてお楽しみください。

【プレコンサート】

鈴木 麻琴　小林 千晶　椴山 さやか

日時　9月8日(日)
14:00開演
会場　伊吹薬草の里文化センター・ジョイホール
出演　鈴木麻琴(ソプラノ)、小林千晶(フルート)、椴山さやか(ピアノ)
料金　一般1,000円　24歳以下 500円　全席自由　チケット発売 7月27日(土)

【ライブペインティング】

日時　9月7日(土)～8日(日) 時間未定　出演　西川 礼華(日本画家)
会場　伊吹薬草の里文化センターホワイエ　観覧無料

【ワークショップ〈岩絵具に触れよう〉】

日時　8月3日(土) 10:30/13:30　講師　西川 礼華(日本画家)
会場　伊吹薬草の里文化センター工芸室
対象　小・中学生(10名×2回)　参加費　500円(材料代を含む)

西川 礼華

お問合せ・申込　伊吹薬草の里文化センター(米原市春照37)　TEL.0749-58-0105

Puppet Festival 2024～人形劇がはじまるよ！～ 「オズのまほうつかい」

長浜文化芸術会館をまるごと使って人形劇フェスティバルを開催します。人形劇団むすび座の大人気演目「オズのまほうつかい」をはじめ、地域団体の人形劇やおはなし会、人形作りワークショップで1日楽しみましょう。

日時　9月29日(日) 10:00～　会場　長浜市文化芸術会館
出演　人形劇団むすび座
協力　子ども劇場推進会議、児童文化活動グループすずめの学校、長浜おやこ劇場、長浜市立長浜図書館
料金　●人形劇団むすび座公演　一般 2,800円　24歳以下2,000円　全席指定
※2歳以下無料(座席が必要な場合有料)　チケット発売：7月6日(土)
●地域団体の人形劇公演　500円
おはなし会と人形作りワークショップは無料

お問合せ・申込
長浜市文化芸術会館(長浜市大島町37)
TEL.0749-63-7400

季刊誌 湖国と文化　第188・夏号 特集 われも湖の子

日本の国土の表面にある淡水の3分の1を抱く琵琶湖。湖国のすべての生命は水を通じてつながる「湖(うみ)の子」です。「琵琶湖の深呼吸」の不全、湖底生物の減少……、湖が直面する厳しさとともに、環境学習船「うみのこ」や「びわ湖トラスト」、若い漁師の活動など、琵琶湖の未来をつくる様々な取り組みを紹介。中高大学生による湖の研究も登場します。「坂本城跡石垣発掘」や「湖北の花火陣屋」など、多彩な話題満載です。

7月1日発売予定
＜販売価格＞ 660円
＜取り扱い＞ 県内書店、びわ湖ホールシアターショップ、滋賀県立文化産業交流会館 など
＜お問合せ・購入申込＞
びわ湖芸術文化財団 地域創造部
「湖国と文化」編集室
(077-523-7146)

「湖国と文化」188号